

# 防災ヘリコプター

## 主な機能

災害発生初動時に、広域的・機能的に災害情報の収集を行います。  
 上空から状況の変化を監視し、地上班と連携して二次災害の防止や円滑な情報の収集に努めます。  
 災害対策要員や資機材の輸送を行います。  
 災害危険箇所は定期的に監視し、異常事態に備えて緊急対策、復旧対策の策定に活用します。

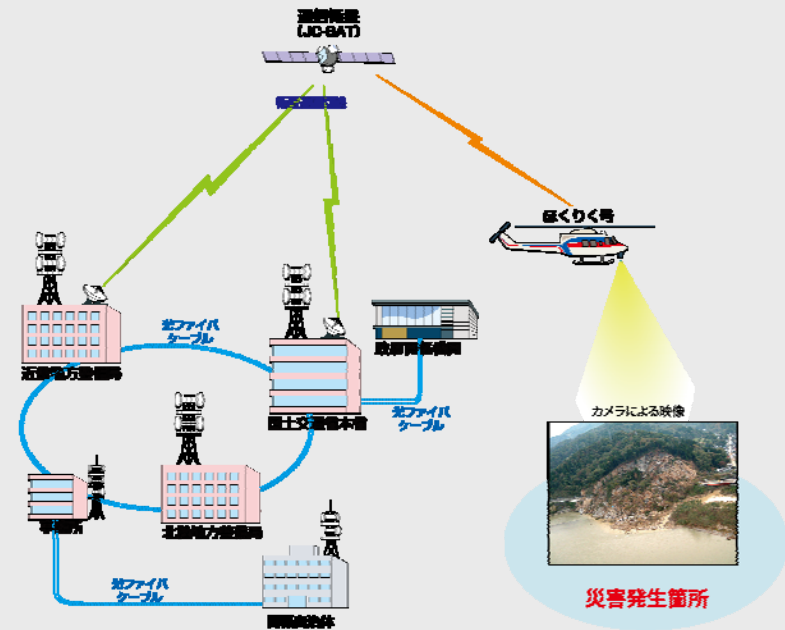


## 新潟空港からの到達時



## ヘリコプターの画像伝送システム

ヘリコプターにより災害現場上空から撮影した映像を通信衛星を介して国土交通省本省(もしくは近畿地方整備局)経由で、北陸地方整備局や各事務所及び関係自治体などに配信します。



配備空港 搭乗人員

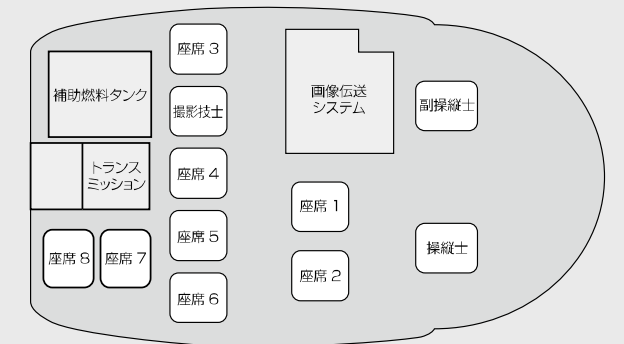
新潟空港

11人  
 (操縦士、副操縦士、整備士、撮影技士を含む)

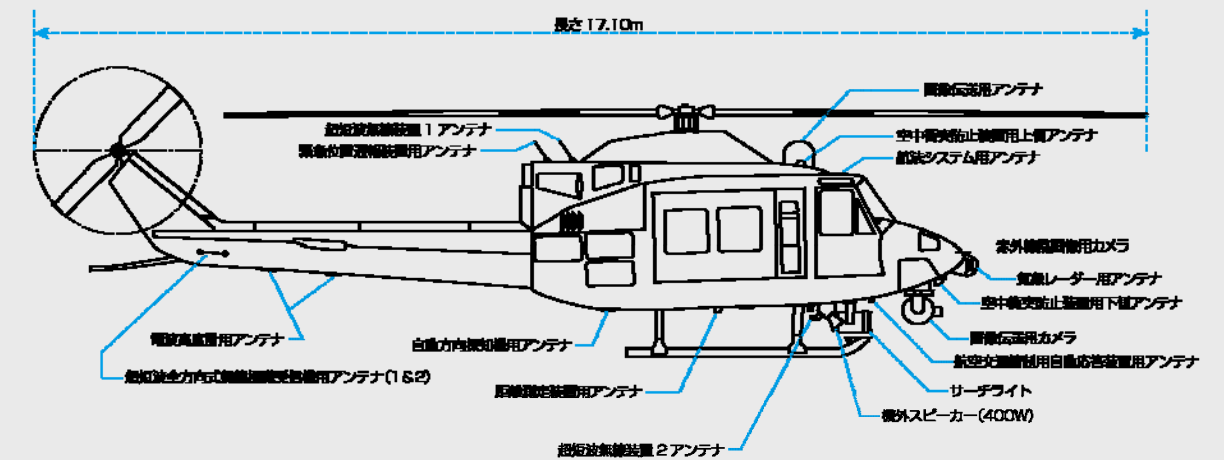
## 機械の諸元

主要諸元	
形式	ベル式 412EP型
最大搭載者数 ※	11名 (画像伝送システム搭載時)
最大航続距離	736km
最大航続時間	4.21時間
最大巡航速度	242km/h
機体最大投影面の長さ	17.10m
機体最大投影面の幅	14.0m
最大吊下能力	約1,000kg
全装備重量	5,398kg

※操縦士、副操縦士、撮影技師を含む



## 主要装備



## 災害対策活動に関する装備品



機外スピーカー

操縦室に装備した操作箱及びマイクを操作して、胴体下に装備したスピーカーで地上へ連絡をすることができます。出力は400W以上、高度300mで飛行中、地上では半径約300mの範囲で音声聞き分けられます。



サーチライト

リモートコントロール装置付き。夜間のカメラ撮影ができます。高度300mから照射時、直下の地上での照度は330ルクス以上で、新聞を読める明るさです。機体胴体部の底部前方機外に装備します。



画像伝送用カメラ

ズーム比の大きいテレビカメラにより鮮明な映像を撮影することができます。(望遠レンズ: 42倍(2倍エクステンダ使用時84倍))